

< 検査報告書変更のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記項目におきまして、検査報告書を変更させていただきますのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察のうえ、ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

《対象項目》

[2652] アミノインデックス(AICS) 男性5種

[2653] アミノインデックス(AICS) 女性6種

総合検査案内56頁参照

※ 報告書見本を裏面に掲載しております。

《実施日》

平成29年5月19日（金）報告分より

●報告書 (見本)

受診された方が分かりやすい表現に記載内容を変更しました。
 全体的にデザインを見直すとともに、紙質を向上しました。
 なお、従来記載しておりました検査結果に関する詳細な情報は、ウェブサイトに掲載しております。
 報告書裏面のQRコードまたはURLをご参照ください。

新 (表)

アミノインデックス 報告書 AICS

XXXX-XXXX 〒100-0000 XXXX
 XXX-XX-XXXX XXXXX-XXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 氏名 XXXX XXXX 歳 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 性別

住所 XXXXXXXXXXXX 探訪日 XX 月 XX 日 担当医師 XXXXXXXXXXXX 先生 XXXX

材料 XXXXXXXXXXXX 検体 HXX 年 XX 月 XX 日 病名 XXXXXXXXXXXX 病歴 XXXXXXXXXXXX

受検者 XXXXXXXX 検体日 HXX 年 XX 月 XX 日 その他 XXXXXXXXXXXX

このたび、受診いただきましたあなたのAICS®検査結果および
 現在がんである可能性をご報告させていただきます。

※AICS®はアミノインデックス®がんとリスクスクリーニング(AminoIndex® Cancer Screening)

検査結果	0.0	5.0	8.0	(AICS®) 10.0
項目	AICS値	ランクA	ランクB	ランクC
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*

AICS®は、胃がん、膵がん、大腸がん、乳がんは25歳~90歳、前立腺がんは40歳~90歳、子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)、卵巣がんは20歳~80歳の日本人を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS®は評価対象外となります。

■ がんである可能性

低い

ランクA

AICS値の範囲
0.0~4.9

ランクAの人
10,000人のうち
3人~7人

がんである可能性

ランクB

AICS値の範囲
5.0~7.9

ランクBの人
10,000人のうち
13人~21人

高い

ランクC

AICS値の範囲
8.0~10.0

ランクCの人
10,000人のうち
40人~116人

※各ランクにおいて人数の割合は異なる場合があります。AICS®では部位によってがんである可能性が異なるためです。一般的に、10,000人に10人が、がんであると見られています。

● ランクについて知っておきたいこと

● ランクB・Cについて ● ランクAについて

血液中のアミノ酸濃度は様々な原因で変化するため、がん以外の疾患で、個人特有の傾向が「ランクA」になり、文脈でも100%がんとはいきません。また、同時に発症がなくてもランクBやCと判定される場合があります。 したがってがん検診の結果と異なる場合があります。

● AICS®の検査結果の判断について

がんの可能性は、AICS®, その他の検査結果と総合的に判断されるものです。本検査結果の解釈やその他の必要な検査に関しては、医師にご相談ください。

コメント

裏面では、検査結果に関する詳細をご覧ください。
必ずお読みください。

検査責任者 XXXXXXXXXXX

IRIL 株式会社 エスアルエル
 〒100-0000 東京都千代田区千代田

68349-1708-01-H275

新 (裏)

アミノインデックス

がんリスクスクリーニング(AICS®)の解説

検査結果(AICS値とランク)について

AICS値は、それぞれのがんについて、現在がんである可能性を、0.0~10.0の数値で報告しています。数値が高いほど、現在がんである可能性が高くなります。現在がんである可能性を判断する目安として、A、B、Cの3つのランクに分類しています。AICS®では、ランクA→ランクB→ランクCの順番で現在がんである可能性が高くなります。

●各ランクでのがんである可能性【倍率】 低い ← → 高い

ランク分類		ランクA	ランクB	ランクC
AICS値		0.0~4.9	5.0~7.9	8.0~10.0
項目	がん種			
AICS(胃)	胃がん	1/3,200(0.3倍)	1/625(1.6倍)	1/98(11.2倍)
AICS(膵)	膵がん	1/2,963(0.3倍)	1/536(1.9倍)	1/111(9.0倍)
AICS(大腸)	大腸がん	1/2,000(0.5倍)	1/789(1.3倍)	1/122(8.2倍)
AICS(卵巣)	卵巣がん	1/3,478(0.3倍)	1/789(1.3倍)	1/86(11.6倍)
AICS(前立腺)	前立腺がん	1/2,222(0.5倍)	1/469(2.1倍)	1/156(6.4倍)
AICS(乳癌)	乳がん	1/1,509(0.7倍)	1/556(1.8倍)	1/250(4.0倍)
AICS(子宮体・卵巣)	子宮体・卵巣がん	1/4,000(0.3倍)	1/682(1.5倍)	1/86(11.6倍)

一般の方が、がんである確率(有病率)を10,000人に10人(1/1000)とした場合、がんである可能性は、出典:厚生労働省「がん対策25(13):454-466(2011)を改定 癌の発生状況に関する研究プロジェクト」提供

上の表は、がん種ごとに、がんであるおおよその確率をランク別にしたものです。一般的に、10,000人に約10人(約0.1%)が、がんであると見られています。例えばAICS(膵)では、胃がんの有病率(一般の方が、胃がんである確率)を10,000人に10人とした場合に、ランクAでは3,200人に1人が、ランクBでは625人に1人が、ランクCでは98人に1人が、がんであると表示しています。

【 】内は一般の方の有病率を1とした場合、がんである確率を示しています。

AICS®について更に詳しい内容はこちらから

●スマートフォンやタブレットからはこちら ▶▶▶

●PCからはこちら ▶▶▶ <http://report.aminoindex.jp/>

このコンテンツをご覧になる際には、下記の読取用パスコードを入力してください。

読取用パスコード: amino

現 (表)

アミノインデックス 報告書 AICS

XXXX-XXXX 〒100-0000 XXXX
 XXX-XX-XXXX XXXXX-XXXX

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 氏名 XXXX XXXX 歳 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX 性別

住所 XXXXXXXXXXXX 探訪日 XX 月 XX 日 担当医師 XXXXXXXXXXXX 先生 XXXX

材料 XXXXXXXXXXXX 検体 HXX 年 XX 月 XX 日 病名 XXXXXXXXXXXX 病歴 XXXXXXXXXXXX

受検者 XXXXXXXX 検体日 HXX 年 XX 月 XX 日 その他 XXXXXXXXXXXX

アミノインデックスとは、血液中の各種アミノ酸濃度から、健康状態や疾病の可能性を明らかにする技術を活用した解析サービスです。がんに関連しているリスクを評価する検査が、アミノインデックス®がんとリスクスクリーニング®です。がんに関連している確率を算出し、AICS値として数値化しています。

AICS = アミノインデックス®がんとリスクスクリーニング® (AminoIndex® Cancer Screening)

項目	検査結果	0.0	5.0	8.0	10.0
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*	*
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	*	*	*	*

AICSは、胃がん、膵がん、大腸がん、乳がんは25歳~90歳、前立腺がんは40歳~90歳、子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)、卵巣がんは20~80歳の日本人(好発年齢を除外)を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS®は評価対象外となります。

検査結果区分	結果範囲	有病率	各々のランクでの有病者数 ※
ランクA	0.0~4.9	0.03~0.07%	8,000人に2.0~5.3人
ランクB	5.0~7.9	0.13~0.21%	1,500人に1.9~3.2人
ランクC	8.0~10.0	0.40~1.16%	500人に2.0~5.8人

※ がんの一般的な有病率を0.1% (10,000人に10人)とした場合、それぞれランクで想定される有病率を検査の感度および特異度から算定しました。

● AICSは、血液中のアミノ酸濃度バランスを解析することによって、がんに関連しているリスクを評価するものであり、がんの有無を直接見る検査ではありません。したがって、検査結果区分が「ランクA」でも、がんに関連していません。また、「ランクB」や「ランクC」でも、必ずしも、がんに関連している訳ではありません。がんに関連すると検査結果が変化する場合があるため、ひとつの検査結果ががんに関連している場合、複数のAICSの項目について「ランクB」や「ランクC」となることがあります。

● AICSは、その他の検査結果とともに総合的に判断されるものです。本検査結果の解釈や必要な精密検査に関しては、医師にご相談ください。

コメント

裏面では、検査結果に関する詳細をご覧ください。
必ずお読みください。

検査責任者 XXXXXXXXXXX

IRIL 株式会社 エスアルエル
 〒100-0000 東京都千代田区千代田

68349-1406-04-H275

現 (裏)

AICSの概要

ここに記載された内容については、「アミノインデックス」報告書AICSの見方と詳しい説明があります。

検査結果区分の定義

AICSはがんに関連している確率をAICS値として表示しています。各がん種に対して特異度が高いAICS値となり、特異度が低いAICS値を8.0、最大値を10.0、最大値が10.0となるように設定しています。また、AICS値が5.0未満の場合をランクA、5.0以上8.0未満の場合をランクB、8.0以上10.0の場合をランクCと定義しています。

各がん種でのAICSの陽性率

(男性: ランクC)

AICS®	胃がん	膵がん	大腸がん	乳がん	前立腺がん
AICS®(胃)	48(0.12)	23(0.06)	39(0.10)	18(0.05)	18(0.05)
AICS®(膵)	14(0.04)	14(0.04)	22(0.06)	22(0.06)	14(0.04)
AICS®(大腸)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)
AICS®(乳癌)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)
AICS®(前立腺)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)

(女性: ランクC)

AICS®	胃がん	膵がん	大腸がん	乳がん	前立腺がん
AICS®(胃)	47(0.12)	23(0.06)	39(0.10)	18(0.05)	18(0.05)
AICS®(膵)	14(0.04)	14(0.04)	22(0.06)	22(0.06)	14(0.04)
AICS®(大腸)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)
AICS®(乳癌)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)
AICS®(前立腺)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)	34(0.09)

検査の評価に用いた症例数

がん種	全症例	陽性症例
胃がん	197	135
膵がん	327	181
大腸がん	260	149
前立腺がん	195	103
乳がん	165	147
子宮体がん・卵巣がん	336	273

※ 陽性症例とはステージがⅠb以上(Ⅰb以上の症例)を指します。子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)、卵巣がんを含みます。

検査の感度、特異度、陽性的中率

AICS®	AICS®値	感度	特異度	陽性的中率
AICS(胃)	80%	75%	0.24%	55%
AICS(膵)	80%	65%	0.21%	41%
AICS(大腸)	80%	65%	0.21%	41%
AICS(乳癌)	80%	65%	0.21%	41%
AICS(前立腺)	80%	65%	0.21%	41%

※ 陽性症例のうち陽性率に有意差のあるがんは200例の症例を解析し、陽性率を解析センターがん研究センター施設がん登録データベースに上記症例データ(197症例~200例)全部登録し陽性率を算出しています。がん登録センターがん登録データベース、子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)を含むがん登録データベースの症例を使用

各がん種ごとの陽性率

がん種	AICS®値	AICS®値	AICS®値
胃がん	25%	49%	69%
膵がん	27%	55%	69%
大腸がん	40%	68%	89%
前立腺がん	36%	68%	89%
乳がん	53%	89%	89%
子宮体がん・卵巣がん	20%	42%	62%

※ 前立腺については、全例を用いて算出しました。

用語の解説

感度: がん患者に対して、検査が陽性となる率です。
 特異度: がん患者でない検査者と陽性となる率です。
 陽性的中率: 検査が陽性となった場合、本当にがんに関連している率です。
 偽陽性率: がんに関連していない、検査結果が陽性となる率です。

AICS検査上の注意事項

●検査時間: 検査時間内に、本表(検査、サブメント等)は提供しない、手動で印刷してください。
 ●検査結果: 検査結果を待っている、医師の方、がん患者(治療中を含む)の方、先天性代謝異常の方、遺伝検査の方、AICS検査(治療中を含む)の方の検査結果は「不明」です。
 ●AICSは、胃がん、膵がん、大腸がん、乳がんは25歳~90歳、前立腺がんは40歳~90歳、子宮がん(子宮頸がん、子宮体がん)、卵巣がんは20~80歳の日本人(好発年齢を除外)を対象として開発された検査です。これらの方以外のAICS®は評価対象外となります。
 ●年齢(BDTA)は、15歳未満は判定できません。
 ●この表は、15歳未満を判定していません。

参考文献
 1) 厚生労働省「がん対策25(13):454-466(2011)を改定 癌の発生状況に関する研究プロジェクト」
 2) 厚生労働省「がん対策25(13):454-466(2011)を改定 癌の発生状況に関する研究プロジェクト」
 3) 厚生労働省「がん対策25(13):454-466(2011)を改定 癌の発生状況に関する研究プロジェクト」

監修: 岡本直幸 (神奈川県立がんセンター臨床研究科)